

城端蒔絵450年記念展 閉幕のお礼

治五右衛門 News Letter Vol.20



南砺市立福光美術館 企画展「城端蒔絵450年 小原治五右衛門と城端のあゆみ」は、おかげさまで盛会裏に閉幕しました。会期中は、地元・城端をはじめ、国内外より多くの皆様にご来場賜り、誠にありがとうございました。

本年は七代 治五右衛門が文化二年(1805)九月十三日に逝去してから220年の節目にあたり、奇しくもその祥月命日に開会式を迎えることができました。先祖もまた本展を共に見守ってくれていたように思います。

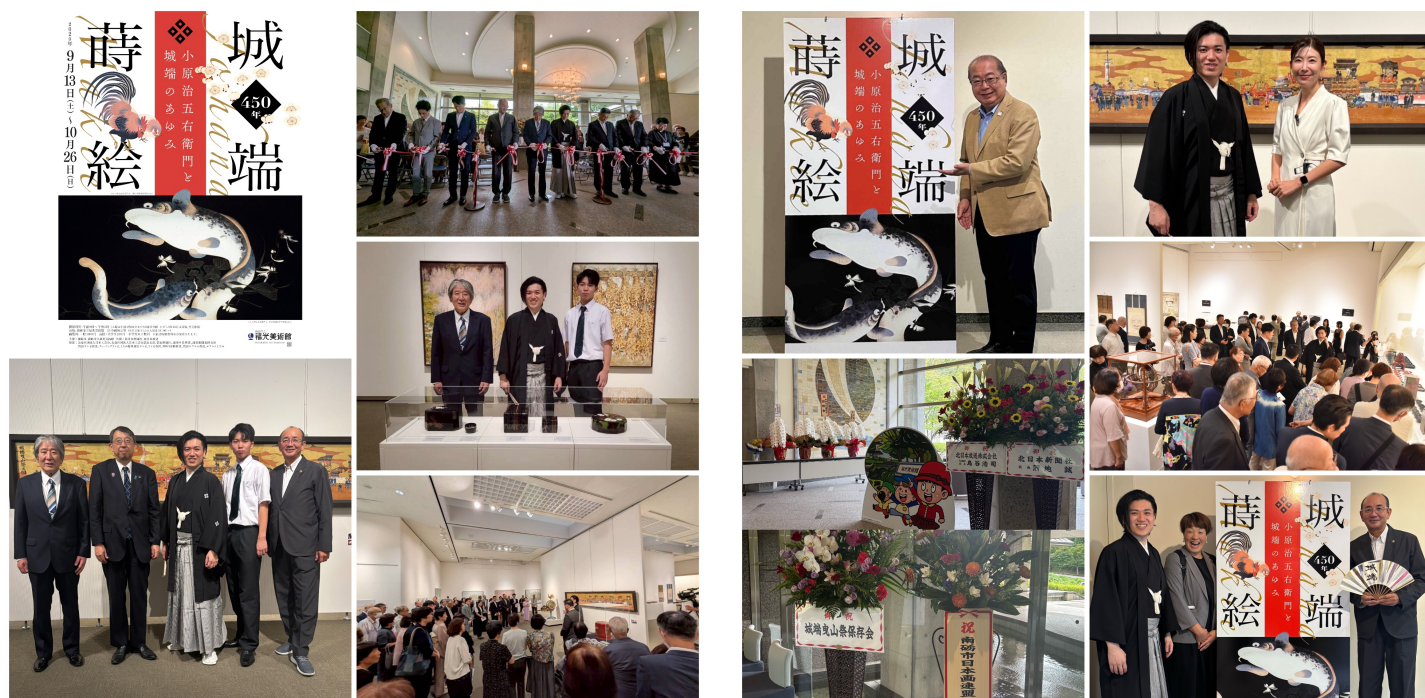
歴代の治五右衛門が、漆を通じて父祖より受け継いできたものは、城端蒔絵や曳山祭の技や意匠にとどまらず、自然と人との調和を尊び、信じる心、敬う心をもって、この地で育まれてきた「祈りの文化」であると感じております。

今後もこの精神を大切に、日々の制作に励み、次の460年、470年へとつなげていけるよう、一層の研鑽を重ねてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

本展の開催にあたり、格別のご高配、ご尽力、ご支援を賜りました主催の南砺市ならびに南砺市立福光美術館の皆様、共催の北日本新聞社様、北日本放送様、後援各社・各団体の皆様、貴重な作品をご出品くださいました東京藝術大学様をはじめ所蔵家の皆様、城端蒔絵を支えてくださるすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

十六代 小原治五右衛門

南砺市立福光美術館 企画展「城端蒔絵450年 小原治五右衛門と城端のあゆみ」



Thank You for Visiting the Exhibition



September 13 – October 26, 2025

南砺市立福光美術館 企画展「城端蒔絵450年 小原治五右衛門と城端のあゆみ」



Thank You for Visiting the Exhibition



September 13 – October 26, 2025

南砺市立福光美術館 企画展「城端蒔絵450年 小原治五右衛門と城端のあゆみ」



Thank You for Visiting the Exhibition



September 13 – October 26, 2025

エフエムとなみ「HAPPY SHOWER」2025.10.16

福光美術館学芸員の高島裕さんとともに、エフエムとなみのスタジオから、企画展「城端蒔絵450年 小原治五右衛門と城端のあゆみ」について生放送でお話しました。パーソナリティーは中島有希永さん。高島裕さんはこの度の企画展を担当してくださった学芸員さんで、歌人としてもご活躍です。この度、小原治五右衛門の短歌を詠んでくださり、現代短歌新聞で発表されました。今月のニュースレターで「アイデンティティーII - 城端蒔絵 小原治五右衛門に寄す」をご紹介します。ありがとうございました。



城端小学校2年生 生活科 2025.10.19

城端小学校2年生 生活科「じょうはなのすてきをたくさん見つけよう」の授業の一環で、石山雄理君と中澤陽南さんがインタビューに来てくれました。1学期の城端蒔絵や曳山祭に続き、2学期は「自分が選ぶナンバーワン」をテーマに、治五右衛門について研究されています。大人も見失いがちな、根本的に大切な質問をたくさんいただきました。一つひとつの質問に対して、展覧会会場で実際の作品や史料を観てもらいながら、九代 治五右衛門が9歳の頃のエピソードも交えつつ、しっかりとお話しさせていただきました。

第72回 日本伝統工芸展 金沢展 開幕 2025.10.31

『第72回 日本伝統工芸展 金沢展』が石川県立美術館で開幕しました。城端蒔絵蓋物「Prominence」も展示されておりますので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。金沢展は11月9日(日)まで。

〔金沢展〕 石川県立美術館 2025年10月31日(金) - 11月9日(日)

〔松江展〕 島根県立美術館 2025年12月3日(水) - 24日(水)

〔高松展〕 香川県立ミュージアム 2026年1月2日(金) - 8日(日)

〔広島展〕 広島県立美術館 2026年2月18日(水) - 3月8日(日)

《終了》

〔東京展〕 日本橋三越本店 2025年9月3日(水) - 15日(月)

<https://www.nihonkogeikai.or.jp/>



十六代 小原治五右衛門《城端蒔絵蓋物「Prominence」》

アイデンティティーIIー城端蒔絵 小原治五右衛門に寄す

漆黒に泛ぶ鯨の白い腹、天保の代のいのちが顫ふ

天正三年創業といふ杳かさを負うて光に耐へる蒔絵師

密陀絵の朱の鳳凰の脚織く天界の水に游べるごとし

金銀にあらぬ蒔絵の彩漆、花鳥・魚・亀、見れど飽かぬかも

純白の漆絵といふ〈不可能〉の秘法はいまも桐箱のなか

藩政の代の罔さかな、祭礼にかかはる責を一身に負ひ

七代小原治五右衛門稀雄、身を遠く魚津の寒き牢に置いて

八代小原治五右衛門一白、鄙にゐて全天の星を見渡しにけり

「亜細亜人一白」として生きた塗師屋が藩政の代の城端にゐた

「伝説」になる手前にて蘇る、戸籍名まで小原治五右衛門

「城端」がアイデンティティー、春を秋を城端のまま世界に向かふ

足元にすべてがあると何度でも気づき続ける 夕光 風

高島 裕 たかしま ゆたか

一九六七年富山県生まれ、在住。岡井隆に師事。歌集『饗養の家』で第十八回寺山修司短歌賞受賞。最新歌集『孟蘭盆世界』『未来』選者。

Messages from Friends

このたびの「小原治五右衛門450年展」のご盛会、心よりお祝い申し上げます。会場を訪れた多くの方々が、治五右衛門さんの作品に込められた深い精神性と美しさに感動されたことと思います。世界で活躍される姿を拝見するたびに、同級生として、そして小原治五右衛門後援会副会長として誇らしい気持ちで胸がいっぱいになります。

学生の頃から、治五右衛門さんは穏やかでありながら芯の強さを感じさせる方でした。目立つことよりも、自らの信念を静かに貫き、時には茶目っ気たっぷりに城端弁で冗談を交わしながらも、その奥に確かな意志を持つ姿が印象的でした。

その誠実さと人間味が、今の作品にもしっかりと息づいているように感じます。蒔絵という、日本を代表する伝統工芸の世界で、古きを守りつつ新しい感性を吹き込むことは決して容易ではありません。それでも治五右衛門さんは、伝統への敬意を忘れず、時代に寄り添う新たな表現を探究し続けてこられました。そのひたむきな姿勢こそが、多くの人々の心を動かし、国内外で高い評価を得ている理由だと感じます。

私は、両親が築いた花農家を引き継ぎ、現在は二十棟のハウスで季節の花々を育てています。ありがたいことに、治五右衛門さんは大切な方々へ花を贈る際、私の手がけるフラワーギフトを選んでくださいます。そのたびに「心を込めて届けたい」という想いが共鳴し、花づくりを続けてきて本当に良かったと感じます。治五右衛門さんの作品も、私の花も、形は異なっても“想いを伝える”という点で同じだと思っています。金や漆の光の中に宿るぬくもり、そして見る人の心に静かに寄り添う優しさ。治五右衛門さんの作品には、人を想う気持ちがあふれています。

どんなに大きな舞台に立たれても、謙虚さと感謝の心を忘れず、常に周囲への思いやりを大切にされるその姿勢に、深い感銘を受けます。ふるさとである城端の空気を胸に、世界へ羽ばたくその姿は、私たちにとって何よりの誇りです。

治五右衛門さんが示してくださる「伝統と革新の調和」は、これからの時代にこそ必要な精神だと感じます。

どうかこれからも、変わらぬ志と温かさで、世界に希望を届けてください。治五右衛門さん、本当にありがとうございます。

同じ時代に、同じ地で学び、夢を追い続ける仲間として、心から誇りに思います。

石村 修子



南砺市議会議員 | 花農家

石村 修子 / ISHIMURA Shūko

1978年、富山県南砺市城端生まれ。南砺市議会議員。花卉園芸農家「千華園」代表。千華園の2代目として、日々花のある暮らしを提案。近年では、エディブルフラワー(食用花)の生産直送農家として研究を重ね、無農薬・化学肥料不使用の「美食花」は、地元飲食店や全国の高級ホテル、ミシュランガイド星付きレストランで愛用されている。中学・高校では柔道に打ち込み、北信越中学校総合競技大会柔道競技48Kg級で優勝、強豪校の小杉高等学校女子柔道部の主将も務めた。柔道三段。また、南山田地区女性部部長やJAなんと女性部部長を歴任、小・中学校の同級生である小原治五右衛門の後援会副会長も務める。2024年、南砺市議会議員に初当選。



OHARA Jigoemon XVI

- Johana Makie -

令和7年(2025)

【活動報告】

10月2日(木) 城端蒔絵450年記念展 団体予約 作品解説
10月3日(金) 城端蒔絵450年記念展 団体予約 作品解説
10月4日(土) 城端蒔絵450年記念展 団体予約 作品解説
10月5日(日) 城端小学校学習発表会
10月12日(日) 城端小学校2年生 インタビュー1回目
10月16日(木) エフエムとなみ ラジオ出演
10月19日(日) 城端蒔絵450年記念展 ギャラリートーク・インタビュー2回目
10月20日(月) 城端蒔絵450年記念展 団体予約 作品解説
10月24日(金) 城端蒔絵450年記念展 団体予約 作品解説
10月25日(土) 城端蒔絵450年記念展 団体予約 作品解説
10月26日(日) 城端蒔絵450年記念展 最終日
10月27日(月) 城端蒔絵450年記念展 搬出
10月28日(火) 城端蒔絵450年記念展 終了あいさつ
10月29日(水) 第72回 日本伝統工芸展 金沢展 展示
10月30日(木) 第32回 青井中美展 審査会
10月31日(木) 第72回 日本伝統工芸展 金沢展 出品者研修会

令和6年度能登半島地震・大雨被害で被災された
皆様に心よりお見舞い申し上げます。
被災地ではまだ不安な日々をお過ごしのことと拝察いたします。
1日も早い安心の暮らしの蘇りに結ばれますよう祈念いたします。

〒939-1865 富山県南砺市城端4316-1

Tel / Fax: 0763-62-1156

E-mail: info@jigoemon.com



<https://www.jigoemon.com>